

問

主な質問と答弁

ふじさわ安心ダイヤル24

相談体制の充実を図る

医師の常駐体制を早期に実施

大野 美紀

(藤沢市公明党)

質問 平成二十二年十月から開始したふじさわ安心ダイヤル24事業については、医師への相談がすぐにできない等の不満の声が寄せられている。コールセンターの体制について聞きたい。

答弁 看護師等は二十四時間、医師は平日の九時から十七時まで、臨床心理士等は、平日九時から二十一時と休日十時から十七時までの対応となっている。

障がい者地域活動支援センター運営支援は

増井 秀夫

(藤沢市公明党)

質問 現在、平日でも医師が相談対応できない状況である。本市は神奈川県先駆けて二十四時間三百六十五日無休のふじさわ安心ダイヤル24を開設したが、いつでも安心して相談できるには、医師のコールセンター内の常駐が不可欠であると考えがどうか。

答弁 本市では、昨年市制施行七十周年を契機に健康都市宣言を行い、市民が健康で安心して暮らせる施策の一つとして、心や身体の健康について、気軽に相談できるふじさわ安心ダイヤル24事業を開始した。今後は、いつでも安心して気軽に相談できる体制の充実を図るため、早期に、医師が常駐する相談体制を実施していきたい。



利用対象者の拡大が望まれる＝キディ湘南C-X

現在3園で実施 病後児保育 対象者拡大を検討

原 輝雄

(さつき会)

質問 病後児保育の利用対象者は認可保育所の入所児童に限られているが、その現状について聞きたい。

答弁 病後児保育は、平成二十三年五月から新たに法人立保育園一園で開始され、

路上喫煙禁止区域 今後の拡大予定は

佐賀 和樹

(ふじさわ自民党)

質問 本市では、これまで、路上喫煙禁止区域として藤沢駅及び湘南台駅周辺など利用者の多い駅を指定してきているが、今後、この禁止区域をできる限り拡大していくべきだと考えるがどうか。

福祉拠点の整備 その目的と機能は

吉田 淳基

(自由松風会)

質問 本市が掲げる福祉拠点整備の趣旨と目的について聞きたい。

答弁 福祉拠点整備については、旧総合計画の(仮称)総合福祉センター建設の検討が継続課題となっていることや障がい者団体等からの要望を受け、新総合計画

藤沢市健康増進計画 取り組み状況は

武藤 正人

(藤沢市公明党)

質問 平成二十二年三月に策定された藤沢市健康増進計画における三つの基本目標の取り組み状況について聞きたい。

答弁 基本目標の一点目の「健康づくりの体制整備」としては、健康に関心のある市民の増加を目指し、イベントやキャンペーンなどにより健康への気づきを促す啓発を行っている。また、保健医療センターの新規施設利用者等をふやすため、運動指導員などの地域派遣や無料体験チケットなどの配

多文化共生へ向け 研修・啓発の充実を

竹村 雅夫

(民主・社民ネット)

質問 本市の公立小中学校には大勢の外国籍の子供が在籍している。また、日本国籍であってもルーツは外国籍であったり、父母のいずれかが外国人であるいわゆる外国につながる子どもも大勢いる。こうした子どもたちについて、状況を把握しているか。

答弁 現在十九カ国、二百六十八名の外国籍児童生徒が在籍し、ペルー国籍の児童生徒が最も多く在籍している。外国につながる子どもの数は把握して

- 会派別議員名簿
- 民主社民ネット(9人)
- 青木 礼子
- 脇 清
- 佐藤 徹
- 永井 崇
- 大矢 雅
- 竹村 雅夫
- 三野 由美子
- 柳田 秀一
- 高橋 八
- ふじさわ自民党(7人)
- 桜井 直人
- 市川 和広
- 佐藤 春雄
- 佐賀 和樹
- 諏訪 春雄
- 山口 幸雄
- 松長 幸
- 山口 幸雄
- 藤沢市公明党(6人)
- 東木 久人
- 武藤 正人
- 塚本 昌紀
- 松本 賢一郎
- 大野 美紀
- 増井 秀夫
- 自由松風会(5人)
- 渡辺 光雄
- 栗原 義夫
- 宮戸 光
- 吉田 淳基
- 加藤 一
- 日本共産党藤沢市議会議員団(3人)
- 土屋 俊則
- 加藤 なを子
- 柳沢 潤次
- さつき会(3人)
- 浜元 輝喜
- 原 輝雄
- 井上 裕介
- みんなの党藤沢(2人)
- 友田 宗也
- 有賀 正義
- アクティブ藤沢(1人)
- 原田 伴子

(会派内の氏名は議席番号順 ○印は会派代表者)